

新春特集

「新年のごあいさつ」

新年あけましておめでとうございます

- ・青年部のページ
- ・女性部、フレッシュユミズ後期事業実施
- ・クロスワードパズル

2025
新春

- ・J A 帯広大正をPR
- ・新入職員農業実習レポート
- ・冬期懇談会、営農計画書提出日程

0231

新春号

2025.01

組合員の皆様 ご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます



新年にあたり

帯広大正農業協同組合 代表理事組合長

森 和 裕

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様、並びにご家族の皆様にご
んで新春のお慶びを申し上げます。

また、日頃より農協事業に対しまして、
組合員の皆様はもとより、関係各位の皆様
よりご理解、ご協力を賜り深く感謝申し上
げます。

昨年の大正地域農業は、何と言っても干
ばつに悩まされた1年となりました。南部
からの雨は幸福地区の南端までしか降らず、
北部からの雨雲により帯広市内が土砂降り
の雨になつても、大正地域に入るとアスファ
ルトは乾いている状況で、十勝管内で雨が
降る地域があつても、大正地域だけは雨が
降らない環境下で作物の生育期間が過ぎる
一年となりました。

7月1日から3日にかけての強風は、小
麦の倒伏を招いたのと同時に、メークイン
の茎葉も傷めつけ、雨による回復が待たれ
ましたがそれが叶わぬ事となりました。馬
鈴薯類は種子用も含めて総じて小粒となり、
豆類も小粒でそれぞれ収量に影響があり、
大豆、甜菜はまずまずの結果を得られまし
たが、野菜類は発芽を含めて干ばつの影響
を受け品質に難がある結果となりました。

飼料作物は、干ばつの影響はあるものの
平年並みの収量を確保出来、生乳生産は前
年に酷暑の影響と生産抑制が行われたこと
もありますが、前年比100%超で推移し
ております。

近年は気候変化と並行して国際紛争以降、
生産費の高止まりが農業経営において大き
な足かせとなっております。改正された食
料・農業・農村基本法では農畜産物の価格
形成において「持続的な供給に要する合理
的な費用が考慮されなければならない」と
定められています。農水省が公表している
農作物価指数では、令和2年を基準（指数
100）とした場合、現在生産資材価格は
120前後で推移しています。（肥料・飼料
は135前後）

一方、生産物価格は昨年のコメの値上が
りの影響が大きく、こちらも120前後ま
で上昇しました。米、牛乳、乳製品、鶏卵、
果樹等。あるいは砂糖、でん粉、小麦粉等
の製品価格は、理由はそれぞれですが令和
2年比で上昇しています。ところが、青果
物に関しては、マーケットの調整機能に価
格決定を委ね、そこで形成された価格を
合理的とする文化が未だ強く残っており、

豊凶により年間でも大きく価格が変動して
います。

令和7年の国会では価格決定についての
法案が検討されるようですが、現時点では
大正農協として、現状の農業者の窮状を伝
え、従前方式での決定価格以上の浮揚を図っ
ているところです。高止まりした経営費に
ついても、農肥肥料に工夫を施し廉価版を
作成し、農産センターにはPPA方式によ
る太陽光発電を採用しました。

忍耐を強いられているこの厳しい農業
情勢・社会状況下を乗り越える事が出来る
よう、そのために農協事業が組合員皆さ
まの一助となり、有益なものとなるよう、
役員が知恵を絞り、一丸となり取り組
んで参ります。

改めて皆さまのご指導・ご協力をお願い
申し上げます。
結びに、組合員・ご家族皆さまのご健勝
とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶
と致します。

謹賀新年

代表理事組合長 森 和裕

専務理事 山本 裕慈

常務理事 前原 義浩

筆頭理事 山田 幸司

理事 黒田 勝史
道見 幸仁
松本 圭司
井村 哲也
笹金 和彦

代表監事 滝上 和義

監事 久保 新

常勤監事 阿部 信一

参事 角田 征男

他職員一同

小麦生産部会

部会長 矢野 圭祐

副部会長 岸塚 雅明

馬鈴薯生産部会

部会長 山田 昌利

副部会長 山田 直樹



令和7年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長

樽井 功

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも早く進んでおりました。しかしながら、夏場は猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受け、各作物等の収量および品質に影響が出た年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の变化、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

昨年には、四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、現状に即した基本理念の見直しと、「食料安全保障の抜本的な

強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」

等の実現が盛り込まれました。政府は、初動5年間の農業構造転換集中対策期間と位置づけ、施策を集中的に実行するとともに、今年3月に食料・農業・農村基本計画を策定するべく引き続き検討を進めております。

J Aグループ北海道としては、食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立のために、農地の確保および適正利用の強化、食料・自給飼料等の安定生産・供給と環境負荷軽減の両立に取り組みながら、それを後押しする力強い政策支援を求めていることが重要と考えております。

また、昨年は第31回J A北海道大会が開催され、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「J Aの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「アグリアクション北海道の推進による農業・食・J Aへの理解醸成一」の3つの議案を決議いたしました。

今後、議案の達成に向けて、組合員・J A・連合会が一丸となって、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、J Aの経営管理の高度化やデジタル化の推進に

よる業務効率化・生産性向上に取り組んでいかなければなりません。

さらに、消費者の皆様には、J Aグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させるとともに、効果的な情報発信により、今まで以上に農業・食・J Aに対する理解を深めていただき、J Aグループが提唱する「国消国産」の認知を広げてまいりましょう。

結びになりますが、本年は巳年です。巳（へび）は冬眠から目覚め地上に這い出すことから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があると言われ、転じて、巳年は力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年だと言われています。

この謂われにあやかり、本年が北海道農業の飛躍の起首となること、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

豆類生産部会

部会長 細野 哲也

副部会長 道見 拓也

長いも生産部会

部会長 道端 真人

副部会長 小森 一利

種子馬鈴薯生産部会

部会長 高嶋 敏彦

副部会長 山本 昌幸

大根生産部会

部会長 宮浦 建元

副部会長 道端 伸行

畜産生産部会

部会長 道端 昌義

副部会長 村上 敦俊

農協運営総合審議委員

委員長 沢崎 彰人

副委員長 上田 倫章

J A帯広大正青年部

部会長 中谷 京平

J A帯広大正女性部

部会長 道見 香織

J A帯広大正女性部フレッシュミズ

部会長 福島 美紅

J A帯広大正年金友の会

部会長 辻 伸一郎



J A帯広大正青年部

部長 中谷 京平

新年明けましておめでとうございます。
お健やかに新年を迎えられ、組合員の皆様並びにご家族の皆様にかかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月に入り例年に比べて非常に気温が高く推移した事により、スタートも早く順調に播種作業を終えることができた良好な走り出しでしたが、5月には強風、霜の影響で初期生育に被害をもたらし、6月以降は猛暑と干ばつの影響により、収量減・品質低下などに悩まされる厳しい1年だったのではないかと思います。この様な地球温暖化による、長期にわたる高温・少雨等の気象変動は益々加速していく懸念があり、この異常事態に対応した栽培技術の構築、品種開発などが早急に求められてきているのではないのでしょうか。

農業情勢では、いまだ続くロシアによるウクライナへの侵攻、パレスチナ・イスラエル戦争による中東情勢の悪化による情勢不安、また日米金利差も相まって円安の進行、それらに伴う経済状況の悪化により、機械、資材、飼料、燃料等の価格高

止まりが続いており、未だ先行きの見えない状況に不安は尽きません。農業コスト高騰に応じた適切な価格転嫁が求められてきている中で、「食料・農業・農村基本法」改正後の基本理念には「合理的な費用を考慮した価格形成」という記述がなされていますが、今後どのような結果をもたらすのか注視していく必要があります。

私たち青年部は年間事業テーマを「Kuhoo!」とし、組織活動を通じて多くの出会いや経験から新たな学びを得て、さまざまな発見や再認識を深めることを目指しています。そこから生まれる新しいアイデアや発想をもとに工夫を重ねながら、営農、組織活動、地域活動の振興と発展に結びつく事を目標に取り組んでいく所存です。

最後に、今後も青年部活動により一層のご理解とご協力を賜りますよう、組合員の皆様をはじめ、農協並びに関係機関各位にお願い申し上げますと共に皆様のご健康、そして本年も豊稔の秋を迎えられますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



J A帯広大正女性部

部長 道見 香織

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

日頃より女性部の活動に對しまして、ご理解とお力添えを頂き心より御礼申し上げます。

昨年は世界的な食料価格の高騰や気候変動の影響など、農業を取り巻く環境は厳しい状況が続きました。地域農業への負担は多大なるものですが、この中でも持続可能な農業への実践を通して、安全で美味しい農産物を生産できるよう日々努力を重ねております。

女性部としても部員減少という大きな課題を抱えておりますが、農業情勢や先行きが不透明な世の中だからこそ、地域交流や研修会により人と人との繋がりの大切さを改めて感じました。富良野方面にて夏期研修を実施しアイス作り体験をしました。冬期研修では沢山の部員の皆様にご参加頂き、豊洲市場視察をはじめ、屋形船や宝塚観劇などを体験しました。皆様のご協力のもと活気のある研修会になりました。

例年行列になるメイクインまつりの無料試食配布では、フレッシュミズ役員と共に、クラムチャウダー・抹茶ミルク・アールグレイラテとも1,500食以上を配布し、青年部の皆様のお力添えもあり、無事に終えることができました。

今年度も残りわずかとなりましたが、部員の皆様をはじめ沢山の方々に支えて頂きながら最後まで前進して参ります。

最後に、今後とも女性部活動へのご理解ご協力をお願いすると共に、組合員の皆さま並びにご家族のご健勝と各関係機関のご繁栄、そして実り豊かな一年となりますよう祈念致しまして新年の挨拶とさせていただきます。



J A 帯広大正女性部フレッシュミズ

会長 福島 美紅

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃よりフレッシュミズの活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の本会の活動といたしまして、6月の夏期研修会ではまずやパン麦音にてピザ作り体験を行い、ご家庭で子供たちとも簡単に美味しくそして楽しく作る事が出来るピザの作り方を教えていただきました。

9月のメイクインまつりでは無料試食を行い、「メイクインころころクラムチャウダー」「抹茶ホットミルク」「アールグレイラテ」を来場者の方々に配布いたしました。朝の情報番組イチモニ！でも大正メイクインを取材していただき、より多くの方々に大正メイクインの魅力が伝わったのではないかと思います。ホームページにレシピが掲載されておりますので、ぜひご家庭でお試しいただけると嬉しいですね。

11月の冬期研修会では、中華料理萬彩

にて中華料理のマナー講座を開いていただき、普段なかなか食卓には登場しない貴重な食材も頂きながら中国の食文化についても学ぶことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

昨年度に続き今年度も会員全員参加となり役員一同大変嬉しく思います。

また、今年度の事業は1月に一泊研修会を予定しております。

これからも会員の皆様の繋がりを深められるよう役員一同協力し合い事業を進めて参りたいと思っておりますので、今後ともご理解ご協力を賜りますようお願い致します。

最後になりましたが、本年も皆様の益々のご健勝とご発展をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



1月31日は償却資産の申告期限です

事業者である個人及び法人は、毎年1月1日現在にその事業のために所有している償却資産について、資産が所在する市町村に申告する義務があります。

令和7年度の帯広市における申告期限は令和7年1月31日(金)です。

前年まで申告をしていた事業者の方については、申告関連書類を12月中旬に直接郵送するか、申告事務を依頼されている税理士事務所などへ送付いたします。

なお、新規開業などの理由により申告関連書類が届かない場合や、事業用資産が償却資産に該当するかどうか判らないときは、市役所資産税課までご連絡ください。

<償却資産の申告に関するお問い合わせ先>
帯広市役所資産税課家屋係(償却資産担当)
電話：0155-65-4124(直通)

農協法公布記念日にあたっての組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 樽井 功

昭和22年11月19日に農業協同組合法(農協法)が公布され、今年で77年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

近年の農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、世界的な気候変動による猛暑や豪雨などによる各作物の収量および品質の低下、国際的な食料需給事情の変化や急激な円安の進行による生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えております。

本年は、農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法が改正され、国民一人一人の食料安全保障の確保と環境と調和のとれた食料システムが基本理念として位置付けられるなど、世界の食料需給の不安定化による輸入リスクの増大、環境問題等を踏まえた内容となっており、日本の農政は大きな転換点を迎えております。

かかる状況のもと、先般、3年に1度のJA北海道大会を開催し、将来ビジョンである【「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」～ひとを育み、ひとと歩む～】が確認されたところであります。

組合員・JA・連合会・中央会が各々の役割を再認識し、一丸となって大会議案を着実に実践していくことが社会からの要請に応えることにもなります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

スマート農業技術活用促進法に基づく「生産方式革新実施計画」認定制度がスタートしました！

農林水産省
北海道農政事務所

「生産方式革新実施計画」の認定を受けることで、長期低利の融資や、設備投資の際の税制上の優遇措置等のメリット措置のほか補助事業の加点ポイントも検討されています。

対象となる事業活動

スマート農業技術の活用と農産物の新たな生産の方式の導入をセットで相当規模で行い、農業の生産性を相当程度向上させる事業活動

申請者：農業者又はその組織する団体
規模要件：計画に取り組む品目における申請者の作付面積等のおおむね過半
目標：農業の労働生産性を5%以上向上させ、所得を維持・向上させること。
実施期間：原則5年以内。

対象となる事業活動の例



直播ドローンの活用



直播適性の高い品種の導入

詳しい内容は、北海道農政事務所ホームページをご覧ください。
お問い合わせや事前相談は、以下の連絡先までご連絡ください。

北海道農政事務所生産支援課スマート農業・技術グループ

smartagri_hokkaido@maff.go.jp

011-330-8807



JA帯広大正をPR — イベント出店 —

6.16 第44回
八千代牧場まつり



6.30 幸福マルシェ2024



7.20 酪農学園大学
オープンキャンパス



8.24 YUBARI
メロードフェスタ2024



企画課では各イベントに出店・参加し、じゃがバターなどの加工品を中心とした物販販売や、飲食販売を通じJA帯広大正をPR致しました。酪農学園大学でのオープンキャンパスではJA夕張市・JAこしみず・(株)北辰フーズと共に参加し、来場者に夕張メロンの試食やじゃがバター等を配付。

2日間で12,000人が来場したJAグループ北海道感謝祭では、JA夕張市・JAこしみずと当JAの3JAで1つのブースとして出店し、各JAの加工品の販売と本年開設した「夕張メロンメタバース」のVR体験会を共同で行いました。

とかちマルシェは大雨が降る悪天候からのイベント開始となりましたが、期間中は過去最高の12万人を超える来場者となり、取引先に協力頂き、大正長いもが入った国産牛タンハンバーグサンドと大正だいこんが入ったユッケジャンスフープを提供し、両日とも盛況のうちに売り切れました。

今後も各イベントに於いて「JA帯広大正」及び「JA帯広大正の農畜産物」の知名度・認知度向上と更なる「JA帯広大正のファン」づくりを目指し、関係者のご協力を賜り、参加してまいります。

8.3~4 真夏の汗激!! フェス2024 in 大和ハウス プレミストドーム JAグループ北海道感謝祭



8.31/9.1 とかちマルシェ



消費拡大推進事業

令和6年度消費拡大推進委員での食育授業のテーマは好きな野菜をより好きに、嫌いな野菜を少しでも好きになっ
て欲しいという思いから「愛してあげて
ね野菜ちゃん」としました。

内容としては生徒に事前に好きな野菜、嫌いな野菜、好きな料理等のアンケートを取り、そのアンケートの結果をもとに、好きな野菜での回答が多かったじゃがいも、ブロッコリー、嫌いな野菜での解答が多かったピーマン、トマトに絞ってその野菜の栄養素や美味しい食べ方等クイズを交えて話していく内容になりました。

授業当日を迎えて、上手くいくか多少の不安はありましたが、生徒達が想像より元気に楽しんで授業を受けてくれたので、私達も楽しんで授業を進める事が出来ました。個人的には反省すべき箇所がいくつかありましたが、授業としては校長先生や理事の皆さんからいい授業だったと言っていたが、生徒達も楽しかったと笑顔を見せてくれたので約半年間委員の皆さんと頑張ってきた良かったと思えました。

最後に、青年部に入部してから他支部の方々と事業に取り組むという事が初めてだったので、即席のチームで目的に向かって団結する事、小学生に向けた授業作りをする事の難しさ等大変に感じる事も多々ありました。しかし生徒達の元気な姿と前向きな授業態度で良い授業が出来た達成感を感じ、改めて美味しい野菜を消費者の方々に届けたいという思いを強めてくれる機会になりました。

今回の消費拡大推進委員での活動はこれからの私の青年部活動及び営農活動において大変貴重な経験になりました。



十勝青年部大会開催

11月25日にホテル日航ノースランドにて、第49回JA十勝青年部大会が行われました。

十勝の全単組が集まる一年に一度の大会であり、今年度は活動実績発表が行われました。

今回は担当単組になり、消費拡大推進事業やメーカーインまつり、夏期研修会や冬期研修会の内容など余すことなく発表しました。他単組では、小豆を使ったあずき茶を作っていたり、物価や資材高騰による現代を生き抜くために「経費削減への取組等」もあり、とても興味深い発表ばかりでした。

基調講演では、一般社団法人北海道プロデューズ代表理事 中村真也さんを講師に招き「十勝の農業から魅力ある未来へ」のテーマのもと、地域創生について考え、どのように人を呼び込むかや、呼び込んだ人にどのように魅力を伝えるかについて考えました。人口減少の一途をたどる今にびつたりの内容でとても考えさせられるいい基調講演でした。

懇親会ではアームレスリング大会も行われ、とても熱い戦いが繰り広げられました。

これからも十勝の青年部の先頭を引っ張っていく気持ちで参加していきたいと思えます。



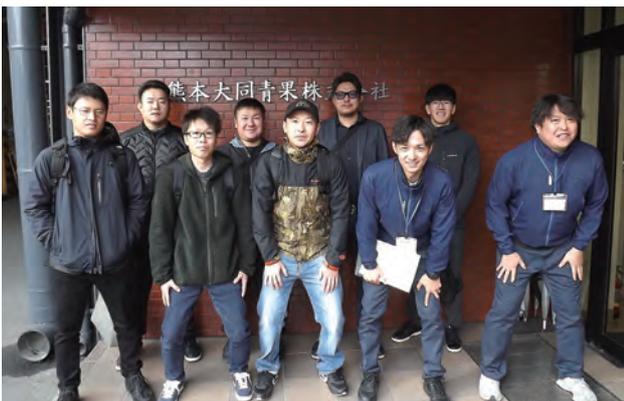
国内視察研修実施

今年度の国内視察研修へ行くにあたり視察先を皆で話し合い、普段私たちが作っている農作物がどのようにして加工・流通しているかを知る為に視察先を九州地方とし、その中で福岡県と熊本県に決めました。

令和6年11月26日～29日の間に研修を行い、株式会社ニッポン・ダイハツ九州久留米工場・九州沖縄農業開発センター・熊本大同青果へ伺い、座学や工場見学をさせていただきました。小麦の歴史や製粉過程、車の整備やエンジンについて、天候対策や収量が高く暖地向けの大豆について、青果職員との意見交換や卸売市場の見学など学ぶことが多くとても有意義な視察になりました。

最後になりますが、今回私たちの視察依頼を快く受け入れてくださった各企業様、スケジュール管理などをしてくださった旅行会社様、そして国内視察研修の機会を与えてくださったJA帯広大正様、並びに青年部盟友の皆様深く感謝申し上げます。

私たちは今回の研修で学んだことを必ずこれからの営農に役立てていきます。



二農協青年部合同視察研修会

12月4日～5日にかけて、JA帯広大正青年部とJA帯広川西青年部による帯広市内二農協青年部合同視察研修会が行われました。

研修では、まず『ホクレンくるるの杜』にて体験農場をはじめ、調理加工体験施設、農産物直売所、農村レストランなどの施設の説明や、普段行っている活動のお話を聞かせていただきました。さらに農村レストランにて新鮮な野菜やこだわりのお肉を使用したbuffetを堪能させていただきました。

続いて『ホクサン株式会社』にて、会社や施設の説明と、農業についての貴重なお話を聞かせていただきました。次に実際に農産物の製造から箱詰めの工場の案内をしていただき、今後の営農に参考になる貴重な時間でした。

夜は札幌すすきのにて懇親会を行い、普段なかなか一緒になることのない盟友と親睦を深めることができ、楽しい時間となりました。

今回の研修会の経験を今後の営農に活かすとともに、大正・川西の交流が今後も続いていくことを願っています。



今こそ力を合わせたい。
私たちの守りたいものが、
この先も続いていくように。

一人ひとりがつながり、お互いに支え合い、誰ひとり取り残すこと無く、未来へつなげていく。そして、みんなの暮らしを良くしていく。JAの協同組合精神と、SDGsの理念は深いつながりがあります。地域に根ざし、地域と共に歩んできたJAグループの取り組みは、これまでと何も変わりません。世界中がSDGsの目標達成に向けて力を尽くす中、私たちの取り組みはさらに大きな意味と責任を持ちます。JAグループは一体となって、食と農を基軸とした総合事業のサービスを提供し、地域の食・農・暮らしがいつまでも持続可能であるように、皆さんと共に歩んでいます。決して無くしてはいけないものと、しっかりと未来につなげていきます。豊かたくらしやすい地域共生社会の実現に向けて、地域の皆さんと、手を取り合って。

JAグループが取り組む、
地域に根差した活動

- あんしん** 日本の食の安全・安心に努めています
- だいち** 地域の農業をコーディネートしています
- くらし** 豊かで安定したくらしをサポートしています
- たすけあい** 高齢者や家族の生活・健康を支えています
- みどり** 日本の美しい自然・環境を農業で支えています
- みらい** 子どもたちに食と農の大切さを伝えています



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

Q JAグループ



女性部

冬期研修旅行 実施

ＪＡ帯広大正女性部（道見香織部長）は、11月26日～28日の2泊3日の日程で冬期研修旅行を実施しました。

今年度の冬期研修旅行は30名の部員が参加し、行先は関東方面で、1日目は到着後、豊洲市場を見学。夕食では屋形船に乗り、普段なかなか見られない景色と料理を楽しみました。

2日目は東京宝塚劇場にて観劇を行い、横浜へ移動した後、赤レンガ倉庫を散策。最終日は鎌倉、江の島観光を行い、あつという間の2泊3日旅行となりました。

参加した部員達は終始楽しそうな様子で、部員同士のコミュニケーションをはかることもでき、大変有意義な研修旅行となりました。



フレッシュミズ

冬期研修会開催

11月27日、令和6年度フレッシュミズ冬期研修会を開催しました。今年度は「中華料理萬彩帯広店」にて王子墨氏に講師を依頼し、テーブルマナー講座を実施。

当日は会員14名が参加し、写真や映像を用いて中国の食文化についてご説明いただいたのち、実際にマナーを学びました。王氏による実体験をもとにした楽しいお話に会員たちは大満足の様子でした。



令和6年度フレッシュミズ交流集会

今年度のＪＡ十勝地区女性協議会フレッシュミズ部会のフレッシュミズ交流集会は、11月21日に十勝農協連ビルにて開催されました。

当日は十勝管内の多くのフレッシュミズ会員が参加し、当ＪＡからも7名の会員が参加。今年の研修は、コロナ禍明け初となるチーム対抗レクリエーション大会が行われました。各組バラバラにチームを組み全員で協力する種目が多く、競技が進むにつれて各チーム団結感も強まり互いに声援を掛け合うなど、どの競技も白熱しており終始、笑顔の絶えないとても有意義な時間となりました。



JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第3回「東野ひでき北海道後援会」の取組み

組織内候補者を擁立して臨んできた過去5回の参議院選挙比例区では、各組織等が精力的に取り組んだ結果、候補者は当選を果たしてきたものの、残念ながら選挙の度に大きく得票数を減らしております。

得票数減少の様々な要因はあるものの、前回選挙の総括では(ア)選挙の意義を組織構成員に伝え機運醸成する組織力の低下、(イ)世代交代や情報発信・接点等不足による候補者の認知度の低下、(ウ)職員、組合員や青年部・女性部盟友等への浸透・徹底不足、(エ)事務局体制の脆弱化等が主な要因としてあげられております。

こうした要因と危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが必要不可欠であります。農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためには政治力の強化が極めて重要であります。

今後、JA役職員、組合員、青年部・女性部盟友、関係団体など東野ひでき氏を応援する者の輪を広げていくために、「なかまづくり運動」をはじめ農政学習会の開催、SNSでの発信等を繰り返し広げてまいります。

ひできのなかまづくり運動

【ひ】…ひとりでも多く!

【で】…できることから!

【き】…きょうから始めよう!

各々が東野ひでき氏支援を依頼する「なかま」を確実に2名以上特定し、さらに、「なかま」1名につき、新たに2名以上の「なかま」を特定し、「なかま」を広げていきましょう。



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第4回)は、農政活動の仕組みについて紹介します。

東野ひでき北海道後援会

東野ひでき氏を 励ます会開催

10月29日農協第一会議室において、東野ひでき氏を励ます会を開催し、約100名の組合員や青年部部長、女性部部長、農協役員が参加しました。東野ひでき氏は、現在JA道北なよろ会長理事、ホクレン代表監事を務めております。農政活動強化に向けて、来年夏に開催される参議院選挙のJAグループ組織内候補として、道内はもとより全国各地のJAを訪問しております。

今回の励ます会では、当JAの森和裕組合長、十勝地区農業協同組合長会の太田眞弘副会長、ホクレン農業協同組合連合会の篠原末治代表理事会長が挨拶を述べ、続いて東野ひでき氏より決意表明が述べられました。最後に当JA青年部の中谷部長より「頑張ろう!」が発表され、励ます会は終了しました。

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第4回「農政活動の仕組み」について

コロナ禍による農畜産物の需給緩和、肥料・飼料をはじめとする生産諸資材の価格高騰、気候変動の抑止に向けた環境負荷軽減の取組み、年々甚大化する自然災害による農地・施設等の損壊、深刻な労働力不足など、我々JAグループの努力だけでは解決できない課題が山積しております。

食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立のためには、我々の努力だけではなく、国の支援が不可欠であります。そのカギとなるのが農政活動であります。

農政活動とは、組合員一人ひとりの声をJA・地区で集約し、みんなの声として、農業・農村・JAに理解のある国会議員に対し、現場の実態を届け、その課題の解決につながる政策を実現してもらう一連の活動・運動であります。

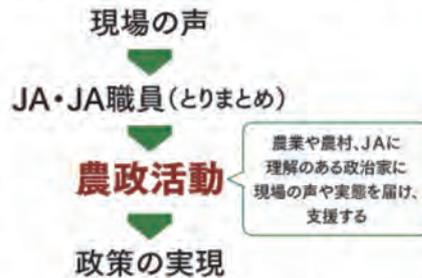
令和5年度は、食料・農業・農村基本法の改正や、作目別の経営安定対策をはじめとする農林水産予算の確保に向け、JAグループ北海道では農政活動を展開しました。その結果、予算の確保をはじめ、さまざまな政策支援が実現しました。しかし、これですべての課題が解決する訳ではなく、生産現場には、まだまだ課題が山積しております。

生産現場の実態を届け、我々の求める政策を実現させるためには、国会議員による国や行政への積極的な働きかけが重要です。そして、そのような議員を支えていくことも農政活動の柱の一つであります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要であります。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第5回)は、参議院選挙の仕組みについて紹介します。



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会



理事会報告

第9回理事会 10月29日

【報告事項】

- ① 定期監査報告について
- ② 令和6年度 各種経理処理および資金処理について
- ③ 組合員の異動について
- ④ 第43回十勝農協連海外農業視察研修について
- ⑤ 令和6年度 内部監査中間報告について
- ⑥ 理事との利益相反取引について
- ⑦ 令和6年度 原料てん菜出荷状況について
- ⑧ 令和6年度 原料てん菜取引条件に関する協定について
- ⑨ 令和6年度 緑肥作付推進事業の実績について
- ⑩ 第46回 帯広大正メークインまつりの反省及び改善事項について
- ⑪ 資金の借入申込について
- ⑫ 令和6年度 小麦概算金(最終)について
- ⑬ 令和6年度 秋播小麦取扱報告について
- ⑭ 令和6年度 農産物集荷取扱状況について
- ⑮ 令和6年度 食用馬鈴薯選別出荷状況について
- ⑯ 令和6年度 澱原馬鈴薯本契約数量について
- ⑰ 令和5年度 長いも選別出荷販売状況について
- ⑱ 令和6年度 大根選別出荷販売状況について
- ⑲ 令和7年度 馬鈴薯原採種圃設置面積について
- ⑳ 令和6年度 生乳生産状況について
- ㉑ 令和6年度 農配肥料工場冬季操業について

【協議事項】

1. 令和6年度 原料てん菜概算払いについて
2. 令和6年度 食用馬鈴薯年間出荷計画について
3. 令和7年度 馬鈴薯原採種圃設置指導方針について
4. 令和6年度 固定資産取得計画(生産販売部)について
5. エネルギーサービス契約及びリチウムイオン蓄電池設置に関する契約について

第10回理事会 11月27日

【報告事項】

- ① 子会社の経営状況について(7月分・8月分・9月分)
- ② 令和6年度 第3四半期の棚卸業務について
- ③ 令和6年度 第3四半期定期監査の日程について
- ④ 組合員の異動について
- ⑤ 理事との利益相反取引について
- ⑥ 令和6年度 原料てん菜受渡状況について
- ⑦ 令和6年度 原料てん菜概算払いについて
- ⑧ 第46回帯広大正メークインまつり決算報告について
- ⑨ 資金の借入申込について
- ⑩ 令和6年度 農産物集荷取扱状況について
- ⑪ 令和6年度 食用・加工用馬鈴薯選別出荷状況について
- ⑫ 令和6年度 澱原馬鈴薯出荷実績について
- ⑬ 令和7年度 小麦採種実測面積について
- ⑭ 令和6年度 種子馬鈴薯環境浄化対策費の徴収について
- ⑮ 令和6年度 種子馬鈴薯代金の徴収について
- ⑯ 令和6年度 播種用小麦種子代金及び小麦採種圃環境浄化対策負担金の徴収について
- ⑰ 令和6年度 生乳生産状況について
- ⑱ 各種共進会等開催結果について
- ⑲ 固定資産の売却(購買部)について
- ⑳ 職員の退職について

【協議事項】

1. 理事との利益相反取引に係る貸付について
2. 令和6年度 クミカン処理方法について
3. 令和7年度 営農計画および組合員勘定限度額設定基準、提出日程について
4. 令和6年度 食用馬鈴薯概算払について
5. 令和6年度 加工用馬鈴薯概算払について
6. 令和6年度 長いも概算払について

第11回理事会 12月13日

【報告事項】

7. 令和6年度 種子馬鈴薯概算払について
 8. 令和6年度 小麦採種本精算について
 9. 令和6年度 小麦共同乾燥調製物の徴収について
 10. 令和5年度 長いも本精算について
 11. 令和6年度 大根本精算について
 12. 令和6年度 農畜産物の生産物融資基準について
 13. 従業員の年末手当の支給について
- ① 子会社の経営状況について(10月分)
- ② 仮決算内容について
- ③ 余裕金の運用状況について
- ④ J A ネットワーク十勝の動きについて
- ⑤ 農協所有地の賃貸借契約について
- ⑥ 令和6年度 年末年始の業務日程について
- ⑦ 経営所得安定対策に係る事務手続きについて
- ⑧ 令和6年度 てん菜の精算状況について
- ⑨ 資金の借入申込みについて
- ⑩ 令和6年度 種子長いも選別料の徴収について
- ⑪ 令和5年度 でん粉交付金及び追加概算金の支払いについて
- ⑫ 農薬売価変更について

【協議事項】

1. 令和7年度 事業計画および固定資産取得整備計画について
2. 令和6年度 冬期農事組合懇談会の実施について
3. 出資金の譲渡について
4. 令和7年度 賦課金の賦課および徴収方法について
5. 令和5年度 契約大豆本精算について
6. 令和6年度 契約大豆概算払について

令和6年度 冬期農事組合会懇談会 日程

月 日	開始時間	第1班		第2班		
		農事組合	班 員	農事組合	班 員	
1/15(水)	13:30	中 島	森 組 合 長 山 田 筆 頭 理 事 松 本 理 事 井 村 理 事 滝 上 代 表 監 事 久 保 監 事	古 舞	山 本 専 務 前 原 常 務 黒 田 理 事 道 見 理 事 笹 金 理 事 阿 部 常 勤 監 事	
1/16(木)	9:30	以 平		桜 木		池 田 部 長 宮 野 部 長 鳥 居 部 長 佐 藤 次 長
	13:30	昭 和		あ い こ く		
1/17(金)	9:30	泉	角 田 参 事 菅 原 部 長 藤 川 部 長 辻 課 長 篠 原 課 長	幸 一	小 峯 室 長	
	13:30	幸 福				

令和7年度 営農計画書提出日程

月 日	農事組合名	班 員	時間割
1月27日(月)	あ い こ く	25	9:00~11:00
	加 賀	24	13:00~16:00
1月28日(火)	幸 一	17	9:00~11:00
	昭 和	40	13:00~16:00
1月29日(水)	幸 福	22	9:00~11:00
	桜 木	33	13:00~16:00
1月30日(木)	泉	18	9:00~11:00
	以 平	28	13:00~16:00
1月31日(金)	中 島	20	9:00~11:00
	古 舞	33	13:00~16:00
	合 計	260	

○上記時間帯では、資金需要額調査及び免税軽油の申込、農薬の取りまとめが行われます。

○営農相談の日程については、営農計画書提出後から2月中旬迄を予定しております。

農業経営基盤強化準備金制度とは？

令和6年度版

経営所得安定対策等の交付金を活用して、計画的に農業経営の基盤強化(農用地、農業用の建物・機械等の取得)を図る取り組みを支援

(特例措置の内容)

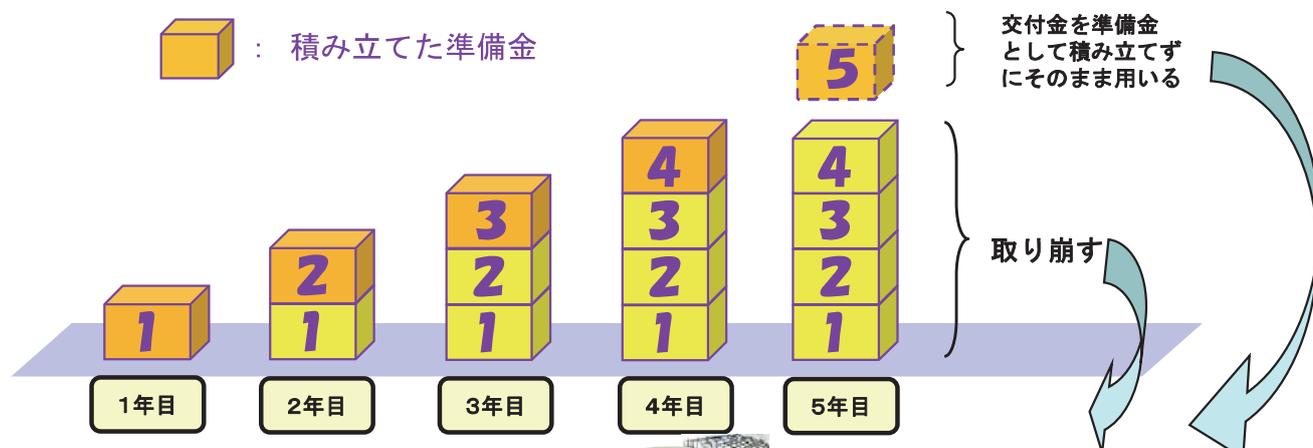
- 農業者が、経営所得安定対策等の交付金を農業経営改善計画などに従い、農業経営基盤強化準備金として積み立てた場合、この積立額を個人は必要経費に、法人は損金に算入できます。
- さらに、農業経営改善計画などに従い、積み立てた準備金(注)を取り崩したり、受領した交付金をそのまま用いて、農用地、農業用の建物・機械等を取得した場合、圧縮記帳※1できます。

注) この特例の適用を受けようとする場合には、一定の方法で記帳※2し、青色申告により確定申告(初年は税務署に事前に届出)をする必要があります。

※1 圧縮記帳とは、交付金により取得した農業用固定資産の帳簿価額を一定額まで減額し、その減額分を必要経費(損金)に算入することにより、その年(事業年度)の課税事業所得(所得)を減額する方法です。

※2 一定の方法で記帳とは、複式簿記による記帳が原則ですが、個人の場合は、現金出納帳、売掛帳、買掛帳等を備え付けて簡易な記帳をするだけでも特例が受けられます。

(例) 4年間積み立てて、5年目に農地等を取得した場合



準備金の積立て

交付金を準備金として積み立てた場合、この積立額の範囲内で

- ① 個人は必要経費算入
- ② 法人は損金算入

(積み立てない交付金は、課税対象)

農業用固定資産の取得

農用地、農業用の機械、一定の農業用の建物等の取得に充てた、以下の金額の合計額の範囲内で圧縮記帳

- ① 準備金取崩額
- ② その年に受領した交付金の額

交付金を投資に振り向け、経営発展!

注: 積立てた翌年(度)から5年を経過した準備金は、順次、総収入金額(益金)に算入され、課税対象となります(H30年に積み立てた準備金は、R6年に5年を経過し、R6年の所得の計算上、総収入金額に算入されます。)

あんしん **NEN** なつとく
農業者年金
 JAグループ

タガヤス君にもしものことがあったら私の収入は国民年金だけなのかしら...?
 女性は男性より長生きだからハナちゃんの後後のこともちゃんと考えなくちゃ

女性の平均寿命は90歳。男性は85歳。終身年金で老後資金を準備することが重要ニヤリ

女性にやさしい農業者年金!!

安定収入増で老後の不安を解消します

農地の権利名義などは不要
 妻だけ単独で入ることも可能



女性農業者から喜びの声続々

女性が年齢を重ねたときにエールを送ってくれる制度だと思う

長寿社会なんだから私たちの年金もちゃんと考えてもらわないと!

子育てが終わって余裕ができましたが加入は遅くなりましたが満額をかけた老後に備えたいですね

夫と一緒に農業をやっているんだから夫婦で加入するのは当然よね

農業は天候に左右されて収入も変動しがら農業者年金は保険料の上げ下げが自由で、苦しいときは引き落としを止めることもできたので助かりました



農業者年金に夫だけ加入した場合と夫婦で加入した場合の比較

	65~87歳の年金額(夫婦)				88~92歳の年金額(妻のみ)			
	国民年金	夫 月額	妻 月額	計 月額	国民年金	妻 月額	計 月額	
ケース1 農業者年金に夫のみ加入	夫 月額	6万6千円	妻 月額	6万6千円	国民年金	妻 月額	6万6千円	
	計 月額	約13万円		農業者年金	なし	計 月額	6万6千円	
	合計:月額	約17万4千円						
ケース2 農業者年金に夫婦で加入	国民年金	夫 月額	6万6千円	妻 月額	6万6千円	国民年金	妻 月額	6万6千円
	計 月額	約13万円		農業者年金	夫 月額	4万4千円	妻 月額	3万8千円
	合計:月額	約21万2千円						

※夫と妻は同年齢。農業者年金へは30歳で保険料月額2万円で通常加入し、死亡事故等を見込んだ農業者の平均寿命(男性87歳、女性92歳)まで生存として比較

農業者年金の内容やご相談は最寄りの農業委員会JA、または農業者年金基金にお問い合わせください。
 独立行政法人農業者年金基金 女性向けチラシ(令和5年5月版)より

あんなん 農業者年金 なつとく
 ハナちゃん、ボク 農業者年金に入ったよ
 あら タガヤス君 ホント?
 今日 畑タガヤスだよ!
 ガールフレンドの ハナちゃんに めっちゃ イイ知らせがあるんだ
 ヤホー! みんな元気? イケメンファーマーの畑タガヤスだよ!
 え? なんだ? 私も早く入らなくっちゃ
 こうしや いられない! 早く入らなくっちゃ
 え? なんだ? 私も早く入らなくっちゃ
 ボクだけでいいんじゃない?
 いま...なんて?
 加二人する
 そそ...
 農業者年金は女子こそ入るべきなのよ!

大正給油所よりお知らせ

日頃より、購買事業には特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 また、組合員皆様の大正給油所のご利用に対して深く感謝いたします。
 さて、大正給油所で所有しておりました燃料油配送ローリーは平成4年度の初年度登録から30年以上が経過し、車体の錆や部品欠損等老朽化が進んでいる事から、本年10月に更新をいたしました。
 最大積載量4,000ℓに変更はありませんが、平成27年度燃費基準10%向上達成車並びに先進運転支援システムを搭載した環境や安全性に配慮した車両となっております。
 引き続き効率的な配送業務に努めて参りますので、大正給油所のご利用をお待ちしております。



お世話になりました

令和6年11月15日
 退職

加賀 陽介
 営農振興部営農振興課営農振興係長

新入職員 農業実習レポート

vol.3



10月下旬～11月上旬の5日間の日程で
新入職員が農業実習を行いました！

- ①実習先
- ②主な実習内容
- ③実習を終えての感想と今後の抱負

- ①古舞町 牧野貴功さん宅
- ②長いもの収穫作業
- ③今回の実習では、トレンチャーを使用した作業の体験をさせていただきました。私は今まで農作業の経験が無かったため不安でしたが、牧野さんや出面さんに丁寧に指導頂いたおかげで多くの事を学ぶ事が出来ました。近年、トラクターにGPSを付け自動操舵が可能になるなど様々な発展がある一方で、まだまだ肉体的負担が多い事、天候の悪化や機械等の故障などで計画通りに作業が進まないなど多くの苦労がある事も知ることが出来ました。実習で得た経験を活かし、組合員の方々に貢献出来るよう努めて参ります。

購買部
大正給油所大正給油所係

佐藤 佑紀



購買部
生産資材課生産資材係

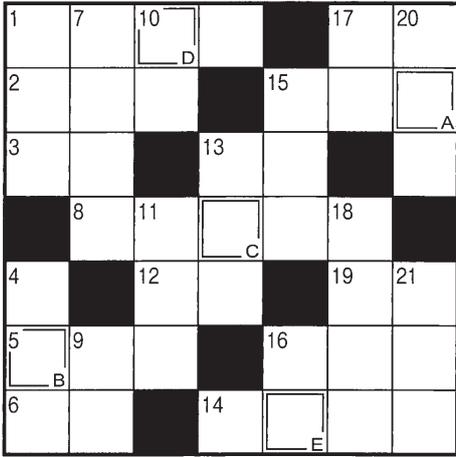
渡辺 修斗



- ①大正町 道端真人さん宅
- ②長いもの収穫・運搬箱詰め・出荷準備業務
- ③今回の実習では最後尾で収穫の取り残しが無いかの確認と収穫物のコンテナ詰め、最後に収穫物の出荷準備までの流れを一通り体験させていただきました。初の長いもの収穫だったので作物を折ってしまわないか不安もありましたが、意外にも早くコツをつかむことができ、根がしっかりした長いものをきれいに収穫出来た際はとても嬉しかったです。実習を終えて、今回の長いもの収穫に限らず、機械では出来ない事・人の目や直接の手を使わなければ出来ない仕事の多さを改めて実感しました。今回体験させていただいた事を思い出けにとどめず、多くの方と共有・共感出来るようこれからの業務に活かし、頑張りたいと思います。



Let's Try!! クロスワードパズル



秋号の正解 ホシガキ

・ 鈴 清 田 久 久 道 草 道 高 矢
木 治 中 保 保 端 森 端 橋 野
清 晃 麻 翔 凱 杏 逢 利 睦 芯
美 生 衣 馬 生 月 千 仁 実 和

正
解
者

応募締切 令和7年1月31日

ヨコのカギ

- 宝船の絵を枕の下に入れておくといもが見られるとか
- 窓を開けて取り込みます
- カード式のホテルもあります
- 中東の国のひとつ。首都はテヘラン
- きねと白でつくもの
- 「本の虫」と呼ばれることも
- 七草を入れて炊くことも
- 初詣で一年の——を祈った
- 「見通しがきく」ことを願っておせち料理に入れます
- マスカラを付けるところ
- 脊椎動物にはあります
- 「Rがつかない月には食べるな」といわれる貝
- 耳が冷えないようにイヤ——をつけた

タテのカギ

- 年賀状をコレからSNSなどに切り替える人も増えました
- サトイモの親芋のまわりにできます
- コートなどに用いる毛織物
- ここで話していても——がかないから見に行こう
- しんしんと降り積もるもの
- 箱根駅伝は10——、計217.1kmで競います
- さんずい、うかんむりなど
- ほうきに乗って飛べるとか
- 10を3回かけ合わせると
- 縁起をかついで食べる受験生もいます
- おせち料理に入れる紅白の食材といえば
- チャールズ・チャップリンは——の王様です
- 可燃ではありません

応募フォームはコチラから!!

毎号クロスワードパズルの正解者10名に抽選でお米券を差し上げます!!



応募方法	応募フォーム・ハガキ・FAXのいずれかに必要事項をご記入いただき、ご応募ください。下記の応募用紙を切り取り持参いただいても構いません。
記入事項	①パズルの回答 ②氏名 ③戸主名 ④年齢 ⑤JA帯広大正との関係(組合員・組合員の家族・その他) ⑥郵便番号 ⑦住所 ⑧電話番号 ⑨その他ご意見・ご感想

※みなさまからいただいた個人情報は投稿コーナーへの掲載や当選商品発送、JA事業運営以外では使用いたしません。
※投稿いただいたハガキなどは、投稿いただいた時点で掲載可能承諾済とさせていただきます。

キリトリ線

広報「大翔」 クロスワードパズル 応募用紙 締切: 令和7年1月31日	①パズルの回答
	②氏名 ③戸主名
	④年齢
	⑤JA帯広大正との関係(いずれかに○を) 組合員・組合員の家族・その他
	⑥郵便番号・⑦住所 〒 -
宛先 〒089-1241 帯広市大正本町東1条2丁目1 JA帯広大正 営農振興課 行 Fax: 0155(64)4357	⑧電話番号
	⑨その他ご意見・ご感想

年末年始の業務日程

月日	事務所	組 勘 窓 口 共 済 窓 口	貯 金 窓 口 (ATM)	大正給油所	農産センター
12/30(月)	9:00~12:00	9:00~ <u>11:00</u>	9:00~16:00 (9:00~17:00)	8:00~17:00	休 業
12/31(火)	休 業	休 業	休 業	8:00~15:00	休 業
1/1(水)	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業
1/2(木)	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業
1/3(金)	休 業	休 業	休 業	8:00~17:00	休 業
1/4(土)	休 業	休 業	ATMのみ (9:00~12:30)	8:00~17:00	休 業
1/5(日)	休 業	休 業	休 業	8:00~17:00	休 業
1/6(月)	休 業	休 業	9:00~16:00 (9:00~17:00)	8:00~17:00	休 業

※年内、貯金窓口は12月30日まで、年明けATMは1月4日、貯金窓口は1月6日より営業します。

※組勘窓口及び共済窓口業務は、年内12月30日11時00分まで、年明けは1月7日より営業します。

※年明けは1月7日より、通常営業となります。

